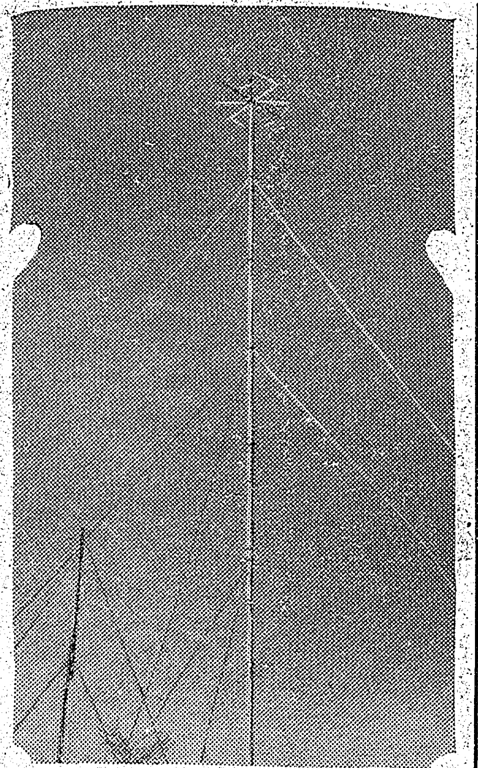
夕刊 いわき民報

発行所
平市田町 電381 1222
いわき民報社
編集兼印刷発行人 田原登

新アンテナ建つ

第二放送二月十日ごろ開始



平放送局では旧臘から近代的アンテナ（支線式円管型絶縁鉄柱）を同敷地内に建設中で来る十日ごろ完成の予定だが高サ四十七米、重サ四百貫もあるこのアンテナが青空にぐつと突き出たのをみて市民はびつくりしている

このアンテナは送受信が同時に出来るといつた近代科学の粋を凝らしたもので地下にはアンテナを中心に半径三十米のアース六十本を敷設する、背田局長は『第二放送は二月十日ごろ開始する予定だ』と語つている（写真は建設した新型アンテナ）

自由黨両支部統合へ

五日役員會で準備

自由党石城、平両支部合同役員会が五日午後一時から本社ホールに開き両支部を統合して新たに"自由党石城支部"結成を具体化せしめ、終つて新年宴会を開くことになつた

自由党の郡、市支部は感情的に多少融和を欠く嫌があり党の活動に支障があつた為『大乗的に郡市を統合して結束を図るべし』という声が高かつたが、県連合支部長関内代議士、木村参院議員、運沼県会議長等の斡旋で機運熟し、新春早々準備会を開くに至つたもので、新支部長には木村守江参院議員の呼声が高い

米國事情を聴く座談會

あす関内、松本両氏を囲み

平市連合青年会では五日午後一時から市公会堂日本間に単位会長を集め、関内代議士、松本前県連青会長を招聘して『アメリカ事情を聴く』座談会を催す終つて会費三百円で懇親会を開く、なお同日午前十時から日本間に評議員会を開き大森勇氏死亡に伴う件を協議

障害者調査

あすから

平市福祉事務所では厚生省の指令で五日から身体障害者の一齊調査を行うが、今度の調査には一般始め軍人関係の傷夷者も含むので旧軍人（準軍人、軍属）又は国民徴用令、学徒報国隊令、女子挺進隊令により徴用された者等で職務遂行中受傷した者は十日まで同事務所に申出る様望んでいる、申出の際、傷夷恩給並びにそれに準ずる一時金を支給された者はその証書を持参のこと

なお同所ではこの調査は恩給復活のための資料にするものだとみている

酔つぱらつた伊藤次席

競輪場で大醜態

窓ガラス破壊 非難の聲高まる

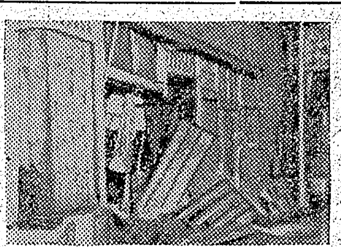
正月の平競輪初日に平市署次席が酔つぱらつて乱暴狼籍一歩手まえといつた行動でこれをみていた市民から大いに非難されている

二日午後三時ごろ平市営競輪初日の十レースがスタート直後に招待席で制服を着てみていた平市署次席伊藤傍雄警視は大分酒を飲んでいたらしくスターターの恰好が面白いといつて高声で話しをしていた時後方でレースを見ていた平競輪副委員長水竹伊之助市議が『やかましい』といつたことから伊藤氏はカアーツとなり『酔つぱらいあつかいにするのか』と詰めよりそのとき椅子につまづいてよろめき窓ガラス三枚を壊わし左手に傷つけて血を出しながらあわや殴りかかろうとの気勢に附近に居合せた人々が驚ろいてなだめて無事に落着いた、これをみていた一般見物人から『いくら正月でも平市署次席が大衆の集まつている競輪場で醜態を演じるとはとんでもないことではないかあれで取締りが出来るのだろうか』と非難されている、これについて伊藤氏は次の如く語つた『正月なので競輪場内で酔つぱらいの騒ぎでも起つては大変だと思つて私も酒を飲んでいたがとにかく行つた所スターターの恰好が面白いので笑つていた、それはたしかに悪いと思つたがあとで水竹氏が頭つから酔つぱらい扱いなのでついカアーツとなつてしまつたのだ』

五十五万圓の黒字 設備費加入

平競輪一カ年の總決算

平競輪廿六年の実績経過をみると車券の総売上げ高は一億九千九百八十万三千円（うち場外売場二〇、六六六、九〇〇円）で十二月（十一回）の黒字を十五万円とみて差引き三百二万八千八百五十一円の赤字となる、だが競輪場其他の設備費が二百八十六万三千二百六十一円とあるので結局、本当の赤字はこれを差引いた十六万五千五百九十円、ところが競輪課の話では当つた車券の未払金が七十二万三千七百七十円もあり近くこれは市当局の収入となるのでそうなれば五十五万円からの黒字だという



この一年間の実施したレースは六百五十一回、一レース平均の売上げ高は三十万六千九百円、一人平均購入額は三千百十五円と全国でも優秀クラスの域に迫りつゝある、入場者人員をみると八万七千六百二十人で一回平均八千人、一万円以上の大穴が出たのは九回で最高が一万七千六百六十六円（第八回）だつた選手に支払つた賞金は何んと三千七百八十八万三千五百十八円振興会交付金は五百九十九万四千九十円、国庫納付金は八十七万七千八十六円、宣伝の費用は五百九万四百七十三円、国庫納付金は八十七万七千八十六円、なお臨時従業員の延数は二十六万七千五百八十五人でこれに支払つた日給は四百三十六万七千三百五十九円、一人一回に千四十三円のアルバイトをしているというワケで平競輪は失業救済に可成りの大役をかつているというところ

狂言自殺

振られた男

磐崎村上湯長谷字長倉北区採炭夫田中忠五郎(三二)は一日朝九時ごろ正月酒に酔つぱらい内縁関係にあつたが別離した湯本町吹谷二三下宿業阿部喜代治さん方日雇世藤フミさん(三二)を訪ね京都に逃げないかと相談を持ちかけたが鼻であしらわれたのを憤慨てんぷら鍋を引つくり返えしフミさんに全治一週間の火傷を負わせた上短刀で自分の喉を切り狂言自殺をはかつたが命はとりとめ湯本町地区署へ

留置場第一號

北海道石狩郡生れ住居不定無職猪狩音吉(三五)は二日午後十時五十分ごろ平市鍛治町一水戸屋食堂で四百三十円相当を無銭飲食し今年の平市署留置第一号として現行犯人で捕まつた

ショウウインド滅茶苦茶

自動車が衝突

三日午後十一時ごろ平市三丁目地内の交叉点（四ツ角）で国警県本部警備部機動班の指揮官車＝運転手石井忠直巡査(二八)＝と平市田町平合同タクシーのハイヤー＝運転手佐竹力之助さん(三〇)＝が側面衝突、指揮官車はそのまゝ附近の佐川洋服店に突入ショウウインドーをめちやめちやにこわした、ハイヤーは大破したが乗客には被害なく指揮官車はステツプを小破した指揮官車のブレーキが利かなかつたもの（写真は滅茶〱にこわされたショウウインドー）

1月のコヨミ

6日	小寒
15日	成人の日
18日	土用
21日	大寒
27日	旧正元旦

ブラジル
並木通 電990

賀正
電話開通のお知らせ
事務所 活版工場 電一三一〇番（平市材木町）
石版工場 電五三三番（平市鍛冶町）
株式会社 三國屋印刷所

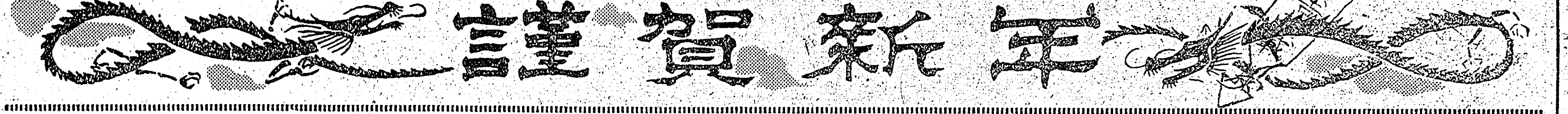
女子事務員募集
一、旧平市内在住 高校卒以上
一、珠算の出来る方
一、家庭婦人も歓迎いたします
越
藤越

謹賀新年
御得意様
歳末年始の大売出しの期間中は絶大なる御援助を賜わりましたことは商店会員一同深く感謝申上げます
なお混雑のため不行とゞきの点は御詫び致します
今後共なお一層サービス改新して御得意様の明るい買物と憩いの場所としての銀座街の発展に努力申上げますから御引立並に御支援を御願い致します
平市銀座街商店会

天気予報 四日

【今晩】は北西の風、晴れたり曇つたりの天気から次第にくもり勝となりましよう

【明日】は北東の風曇り勝で午後は一時小雨模様の天気となりましよう、海上はおだやかですが昼頃から幾分シケ気味となりましよう



謹賀新年

東洋繊維株式會社
取締役社長 川角五郎
東京都中央区日本橋室町二ノ二

久
釜屋商店
平市五丁目
電九 九九 九九九
一三九 六三一
六五一

常磐炭鑛株式會社
磐城鑛業所
湯本町辰ノ口
電（平）八四〇一二

常磐交通自動車株式會社
取締役社長 野崎満蔵
専務取締役 野崎喜八郎
常務取締役 芹沢重雄
取締役 野崎理夫
〃 緑川与一郎
〃 後藤義弘
監査役 青天目信治郎
〃 野崎秀幸

鳳城炭鑛株式會社
代表取締役 菊地泰二郎

堀江工業株式會社
常務取締役 長谷川常吉

郷土治安の状況

主なる警察署長の抱負

一昨年夏に共産党員の一味により平市署を占領したいわゆる平事件は前古未曽有の大不詳事件として天下の耳目を衝動し郷土石城の治安史に一大汚点を残した、爾来わが郷土の治安に対する関心はぐんと上つて県は機動班を平地区署に送り各警察署も亦夫々内容の整備充実に力を注ぎあの事件を契機として一段と強化された警察力の前にその後の治安は再び攪乱されることもなく二十七年を迎えたが、地下に潜入する共産党幹部の消息は依然として不明のまゝ非合法活動が一層活潑化しているとの噂もある中にあつて郷土警察陣が、これ等に対する構想や進んでは警察の民主化と理想の夢などにつき主要警察署長からその抱負を聴く…

警察力強化に増員を

平市署長　宇佐見吾市

新年を迎えて警察の民主化の徹底青少年補導の強化、犯罪検挙率と賍品の回収率の向上、独身寮の設置、定員の増加、交番所の新設などといろいろくの抱負はあるが、中でも将来の国家を背負つて立つべき青少年の犯罪は五市の中で最も多いといわれているがこれは平市周辺の特殊性が原因していると思われる、これら青少年の心身の特殊性を理解し家庭を最も楽しい憩いの場所となし家庭や社会のあらゆる人々が少年問題に大きな関心を持つて問題少年を出さないように力を入れて実行したい、更に平市の人口増加と平事件公判、平競輪などの警備のため署員を十五名増員したい、また他署にはそれぞれ独身寮が設けられているが平市署にはなく署内の一室に四乃至六人が住んでいるという状態なので是非とも今年は寮を設けたい

水上警察も必要

小名濱警察署長　鈴木龍之助

〝海辺警察署〟とも云うべき新しい小名浜地区署は一警部補派出所、五巡査駐在所によつて管内五カ町村の治安に当つている、今年は地元から要望のある豊間町大字豊間と小名浜町魚市場内に巡査駐在所を新設（小名浜町弁別にも考慮中）する予定、また庁舎が明治時代の古い建物なので雨漏りもあるためこの際新築乃至改築したい、一方機動力を急速に強化するためコマンドカーなどの配備も是非実現させたいものと考えている

沿岸警備の任に当る当警察署では漁業家の要望に応えて海上犯罪の絶無を期すように努めたいそのために水上警察班の設置も必要となろう、港内外の犯罪を防止するため日夜の別なく働けるよう沿岸警備艇又は港内艇の配置も真剣に考えてよいと思う警察官によつて運営する警備艇は真夜中に於ては特に監視の眼を光らすことになるので現在のように船泥棒の多い時には相当の効果を挙げ得られると思う

昨年全国のトツプを切つて全署員を集め海上に於ける救助訓練を実施したが、今年も沿岸一帯を受持とする署として一応署員に人命救助訓練なども実施して行きたいと思つている

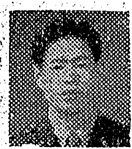
夢の實現へ

内郷署長　齋藤市彌

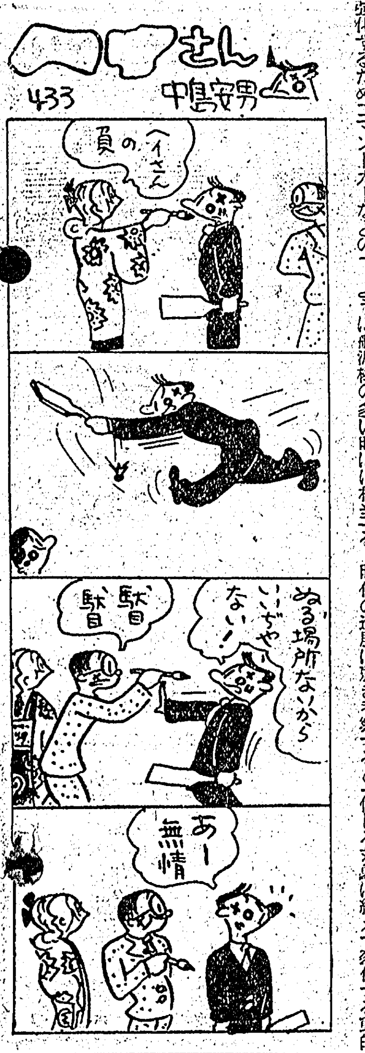
夢は我々にとつて常に親しみ深いものだ、奇人か犬の邪鬼でない限り豚にへそをなめられたところの夢など好かない誰にとつても一富士、二鷹、三なすびの夢は悪くない、私は昭和二十七年の夢はせめてなすのへたでもよいからみたいものだと思つていたが意外にも社会から警察署も検察庁も裁判所もなくなつた所謂夢想だもしない夢をみて了つた、しかもその夢想は超越した公徳に満ちたものであり警察署検察庁裁判所のないことも一向不自然ではなかつた、この夢想の社会は超高度の道義によつて維持され形成され換言すれば犯罪のない社会であつた、ところが夢からさめた現実はその夢とは反対方向に進んでいる嘆かわしいものだつた、明朗な社会の設計は急務だがいざこの現実に打つかると夢も又果敢ない泡沫に等しく結局泥縄式の意味ではないがその時々の生きた現実にぶつかりこれを打破し開拓し一歩一歩夢実現のために努力したい

揺がぬ組織體の充實

湯本警察署長　菅家德壽



旧臘十二月六七日の両日に検察長官会議で大橋法務総裁や佐藤検事総長は講和後の左右両派の活動の劇化に伴い検察官の奮励努力を望む云々と挨拶している、時代の進展に就き考察することも必要だが私はそれよりもそれに対する備え即ち自己陣営の充実だけを考えている、組織の中の一人として、小さい乍ら一つの組織体の責任者として日夜夢見ていることは自己の組織の充実その対策だけ、相手のことも考えていな何しろ対象は絶えず変化する動的なもので今日の相手は明日の対象と異なり、今年の対象は来年のそれより新しい対象となり、我々に迫るので、我にも年一年と充実したより精気に満ちた腐れない組織を確立したい、警察組織充実の要件は勿論多岐に渉るが念願は武将の三略と言われた『己に克ち味方に勝ち敵に勝つ』この大楠公の言葉を少しなりといやより多く体得してみたいものだということです即ち自己の身辺を出来る限りさつぱりとしておさまり、味方の署員の一致団結を図るため公平な処置をし、身内の疑惑を一掃し強い組織体を織めたい念願これだけが夢です、これさえあれば後はなにそれいつでも御座れで少しも憂慮するところはないと考える、二十六年いやそれ以前からの夢にも考え且苦心して来たこのことだけを二十七年も同じように夢とし現とし実現したい



山崎氏ら放送

あす〝鉢の木〟

平市古鍛冶町山崎辰兵衛、神谷辰夫の両師は五日午後一時三十分より郡山放送で新春の謡始めに喜多流『鉢の木』を放送する

JOCP ラジオ JOHQ　ローカル平放送（5日）

後一・〇〇　座談会『今年の抱負』佐藤元治　丹治盛重　横山武　諸橋久太郎　田中仲三

後一・三〇『翁太夫と謡曲』山崎辰兵衛ほか

謹賀新年

好間村役場

村長　鈴木栄一
助役　熊谷武広
収入役　金成繁
外吏員一同

賀正
HAPPY NEW YEAR

古河鑛業株式會社
好間鑛業所

所長　伊藤文健

新春

縣議會議員
澤田源次

縣議會議員
赤津庄兵衛

湯本町役場
町長　松本久吉
助役　内山吉五郎
収入役　仲里勝利

湯本町議會
議長　飯島隆俊
副議長　小野英二郎
外議員一同

湯本地區警察署
署長　菅家徳寿

湯本温泉
旅館組合

品川白煉瓦
株式會社
湯本工場
工場長　服部梅雄

湯本信用組合
理事長　松本久吉
専務理事　山口金太郎
常務理事　吉田恭平

好間村議會
議長　塩沢軍太郎
副議長　竹内万吉
外議員一同

1952 賀正

植田町役場
町長　渡辺昌之助
助役　吉田信雄
収入役　古川三郎

植田町議會議員
（順不同）
鷺文治
北郷徳助
中根覚衛
成瀬巳三
山際丑太郎
渡辺兵左衛門
布施宗
小川信夫
赤津亦雄
小宅栄太郎
赤津新兵衛
樋田善三郎
森合芳男
蛭田勝雄
下山田勇（喪中）
赤津馬次郎
佐藤鉄太郎
鷺富太郎
古川金之助
高木一男
橋嵩清
小野塚量

上遠野村診療所
所長　櫛田敏也
武田藤吉郎
小山淳治

菊多地區金融團
（イロハ順）
東邦銀行植田支店　支店長　小林保治
東邦銀行勿来支店　支店長　佐藤保
東邦銀行泉支店　支店長　関宏吉
大東相互銀行植田支店　支店長　浅野英男
植田信用組合　理事長　赤津庄兵衛
福島相互銀行植田支店　支店長　大越丈三
常陽銀行植田支店　支店長　藤田武

植田齒科醫師團
大友歯科医院
小野塚歯科医院
久保木歯科医院
岩並歯科医院

田人村役場
村長　逸見万吉
助役　小野猪太郎
収入役　蛭田専治
職員一同

植田町營林署
署長　滝沢政雄
庶務課長　鈴木資
経営課長　今村道視
事業課長　井出義忠

映画常設館
昼夜通上映
菊多劇場
植田町番所下
株主一同

勿來町役場
町長　斉天目倫治郎
助役　渡辺礼五郎
収入役　馬目武助

勿来郵便局長　赤津作衛
勿来駅前郵便局長　星勝美
勿来酒井郵便局長　阿部聰山
石城川部郵便局長　小野光輝